

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【公表番号】特表2000-505619(P2000-505619A)

【公表日】平成12年5月9日(2000.5.9)

【出願番号】特願平9-530572

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 7/24

【F I】

H 0 4 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月2日(2004.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年2月2日



特許庁長官 今井 康夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第530572号

2. 補正をする者

住所 (居所) ドイツ連邦共和国, 78048 ヴィリンゲン-
シュヴェニンゲン, ヘルマン-シュヴェアー-
シュトラッセ 3

氏名 (名称) ドイツェ トムソン-ブラント ゲーエムベーハー

3. 代理人

住所 〒150-6032 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号
恵比寿ガーデンプレイスタワー32階

氏名 (7015) 弁理士 伊 東 忠 彦
電話03(5424)2511番(代表)



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 請求の範囲の記載を別紙のとおり補正する。



方 式 査 査 (佐藤)

請求の範囲

1. 可変的な瞬時記憶ビットレート (VBR) を許容する記憶媒体上の所定の記憶容量を占める記憶されるべきデジタルビデオデータのシーケンスを符号化 (MENC, ENCB) する方法において、

上記所定の記憶容量の前半部分内で、上記データは、上記所定の記憶容量を上記シーケンスの区間で除算して得られる全体的な平均ビットレートよりも低い平均ビットレートと、柔らかい瞬時ビットレート制御とを用いて符号化 (MENC; Q , Q_E^{-1} , ECOD) され、

上記所定の記憶容量の残りの部分内で、上記データは、上記全体的な平均ビットレートよりも高い平均ビットレートと、堅い瞬時ビットレート制御とを用いて符号化 (MENC; Q , Q_E^{-1} , ECOD) されることを特徴とする方法。

2. デコーディングバッファ手段 (DECB) への可変的な瞬時読み出しビットレートを許容する記憶媒体上で所定の記憶容量を占めるデジタルビデオデータのシーケンスを復号化 (MDEC) する方法において、

上記所定の記憶容量の前半部分内で、上記データは、上記所定の記憶容量を上記シーケンスの区間で除算して得られる全体的な平均ビットレートよりも低く、柔らかい瞬時ビットレート制御に対応した平均ビットレートを用いて復号化 (MDEC; EDEC, Q_D^{-1}) され、

上記所定の記憶容量の残りの部分内で、上記データは、上記全体的な平均ビットレートよりも高く、堅い瞬時ビットレート制御に対応した平均ビットレートを用いて復号化 (MDEC; EDEC, Q_D^{-1}) されることを特徴とする方法。

3. 上記所定の記憶容量の前半部分で、上記平均ビットレートは、上記全体的な平均ビットレートの約95%であり、

上記所定の記憶容量の後半部分で、上記平均ビットレートは、上記全体的な平均ビットレートの約150%である、請求項1又は2記載の方法。

4. 上記前半部分は上記所定の記憶容量の約80%を占め、
 上記後半部分は上記所定の記憶容量の約20%を占める、
 請求項1乃至3のうちいずれか1項記載の方法。

5. 上記所定の記憶容量の上記前半部分と上記後半部分との間に、上記ビットレート制御の特性が滑らかに変化する別の部分がある、請求項1乃至4のうちいずれか1項記載の方法。

6. 可変的な瞬時記憶ビットレート (VBR) を許容する記憶媒体上の所定の記憶容量を占める記憶されるべきデジタルビデオデータのシーケンスを符号化する装置において、

離散コサイン変換手段 (DCT) と、量子化手段 (Q) と、逆量子化手段 (Q_E^{-1}) と、逆離散コサイン変換手段 (DCT_E^{-1}) と、画像記憶手段 (FSMC_E) と、符号化された出力信号 (OE) を送出し上記量子化手段の出力に接続されたエントロピー符号化手段 (ECOD) とを含む符号化ループを使用し、

上記量子化手段 (Q)、上記逆量子化手段 (Q_E^{-1}) 及び上記エントロピー符号化手段 (ECOD) は、

上記所定の記憶容量の前半部分内で、上記データが、上記所定の記憶容量を上記シーケンスの区間で除算して得られる全体的な平均ビットレートよりも低い平均ビットレートと、柔らかい瞬時ビットレート制御とを用いて符号化され、

上記所定の記憶容量の残りの部分内で、上記データが、上記全体的な平均ビットレートよりも高い平均ビットレートと、堅い瞬時ビットレート制御とを用いて符号化されるように制御されることを特徴とする装置。

7. デコーディングバッファ手段 (DECB) への可変的な瞬時読み出しビットレート (VBR) を許容する記憶媒体上で所定の記憶容量を占めるデジタルビデオデータのシーケンスを復号化する装置において、

エントロピー復号化手段 (EDC) と、逆量子化手段 (Q_D^{-1}) と、逆離散コサイン変換手段 (DCT_D^{-1}) と、画像記憶手段 (FSMC_D) に供給される復号化された出力信号 (OD) を送出する加算手段 (ADD) とを

含み、上記画像記憶手段の出力信号は上記加算手段の第2の入力に供給される回路を使用し、

上記デコーディングバッファ手段 (DEC B) 及び上記逆量子化手段 (Q_D^{-1}) は、

上記所定の記憶容量の前半部分内で、上記データが、上記所定の記憶容量を上記シーケンスの区間で除算して得られる全体的な平均ビットレートよりも低く、柔らかい瞬時ビットレート制御に対応した平均ビットレートをを用いて復号化 (MDEC ; EDEC, Q_D^{-1}) され、

上記所定の記憶容量の残りの部分内で、上記データが、上記全体的な平均ビットレートよりも高く、堅い瞬時ビットレート制御に対応した平均ビットレートをを用いて復号化 (MDEC ; EDEC, Q_D^{-1}) されるように制御されることを特徴とする装置。

8. 請求項1記載の方法に従って符号化されたデジタルビデオデータのシーケンスが格納、又は、記録されている、特に光ディスクである記憶媒体であって、前記記憶媒体のデータが請求項7に記載の装置に入力されるときに、前記データは請求項2に記載の方法を実行することを発生する、記憶媒体。